

心臓血管外科

● スタッフ（平成27年10月1日現在）

診療科長 荻野 均
 医局長 岩崎 倫明
 病棟医長 小泉 信達
 外来医長 西部 俊哉

医師数 常勤 12名
 非常勤 6名

● 診療科の特徴

当科では、心臓疾患（冠動脈疾患、弁膜症、先天性疾患）、大動脈疾患（動脈解離、胸部大動脈瘤、腹部大動脈瘤）、末梢血管疾患（閉塞性動脈硬化症、バージャー病）と幅広い心臓血管外科領域を網羅し、それらの疾患に対してオールラウンドに携わってきたスタッフ達の経験を生かし、確かな技術力と根拠のもと、患者さんに最適と思われる治療を選択し治療しています。

また、近年では多数の疾患を抱えた高齢患者や、複合緊急疾患を有する重症患者が多く、その集学的医療を行うため、当科では循環器内科、麻酔科、集中治療部など他科との連携し、集学的医療を行っています。各科との密接な協力体制のもとに、最善の治療を提供するべく日夜診療を行っています。

< 診療内容 >

- ①心臓手術；虚血性心疾患に対する、冠動脈バイパス術（人工心肺を用いない OPCAB 含む）や左心室形成術、大動脈弁や僧帽弁の狭窄・閉鎖不全に対する弁膜症手術（大動脈弁形成・置換術、自己弁温存手術、僧帽弁形成・置換術）、上記の複合手術を行っています。
- ②大血管手術；胸部・胸腹部・腹部大動脈瘤や急性・慢性大動脈解離に対して、人工血管置換術を行っています。
- ③肺動脈血栓内膜摘除術（PEA）；慢性血栓塞栓性肺高血圧症（CTEPH）に対する、国内で数少ない手術可能な医療機関です。
- ④末梢血管手術；閉塞性動脈硬化疾患に対して下肢バイパス術（人工血管や自家静脈グラフト）や血栓内膜摘除術を行っています。
- ⑤低侵襲手術；体に負担の少ない低侵襲手術を目指し、上記の通常手術に加えて、大動脈瘤・大動脈解離に対するステントグラフト内挿術（TEVAR・EVAR）、閉塞性動脈硬化疾患に対する血管内治療（PTA）、心臓疾患に対する小切開開心術（MICS、OPCAB）を積極的に行っています。
- ⑥下肢静脈瘤手術；下肢静脈瘤に対してラジオ波焼灼術（RFA）を行っています。
- ⑦緊急性の高い急性大動脈解離、大動脈瘤破裂、急性心筋梗塞、急性動脈閉塞症に対して、CCU、ICU、救命救急センターと協力して緊急手術に対応しています。
- ⑧循環器内科、麻酔科、集中治療部と連携した、高齢者・重症患者への集学的医療を行っています。

● 診療実績

入院患者総数；692（平成27年4月～平成28年3月）
 手術件数；489（平成27年1月～12月）

領域	術式	件数	内訳
心臓		374	
胸部	人工血管置換		52
	ステントグラフト（TEVAR）		37
腹部	人工血管置換		14
	ステントグラフト（EVAR）		54
末梢	血行再建		18
	血管内治療（PTA）		46
	その他		18
静脈	静脈瘤		55
	その他		3
HD	ブラットアクセス		77

領域	手術件数
心臓	115
血管	374
合計	489

領域	術式	件数	内訳
心臓		115	
	冠動脈バイパス		49
	弁置換（形成）		43
	肺動脈血栓内膜摘除（PEA）		11
	その他		12